

【ショートショートにチャレンジ】

【手順①】 7分

① 名詞を探して書く (3分)

水筒 森 消しゴム 鍵 宝くじ 目薬など なんでも思いつく名詞20コ

② 名詞から思いつくことを書く (4分)

最初にした名詞から1つ選び、その言葉から思いつくことを書く。

<消しゴム>の場合

「白い」「なかったことになる」「投げる」など。

【文章にしていく】 13分

<ステップ1> 5分 不思議な言葉を作る。

手順①で書いた名詞と思いつくことを組み合わせてつくる。

「投げる目薬」や「白い宝くじ」など、日常では耳にしないような言葉を考える。

<ステップ2> 8分 不思議な言葉から想像を広げる

☆ ステップ1で作った不思議な言葉から1つ選び、「それはどんなものか」説明する。

☆ 次に「それは、どこで、どんな時にいいことがあるか」また、「悪いことがあるか」のメリット、デメリットを書く。

① 名詞を 20 個、書く。 (制限時間 3 分)

② ①から1つ選び、思いつくことを書く。 (制限時間 4 分)

<思いつく言葉>

<選んだ言葉>

...

③ ①と②をひっつけて、不思議な言葉を作る。 (制限時間 5 分)

④ ③の中から、1つ選び想像を広げる。

☆ どんなものが説明する。

☆ 「それは、どこで、どんな時にいいことがあるか」 「意外な使い方」など。

このように積み上げてきたもので、とっても作文が苦手な自分が書いてみました。

【1枚の宝くじ】

今日は年末ジャンボ販売の最終日。

残り福を手に入れるべく売り場へ急ぐ。

売り場には、いつもと違う愛想の悪いおばあさんがいた。

「年末ジャンボ1枚👉」

「買うのかね👉」

「??? はい。」

「ふふっ。保管場所には気をつけな。」

なんだか奇妙な感じがした。

(保管場所か…。)

いつもは財布の中に入れてままだが、そんなことを言われると気になる。

よし、今回は神棚に祀っておこう。

年が明け、結果を確認しようとクジを見る。(ドキドキ…。ん!!😳)

番号のところが真っ白だ👉

あの、奇妙なおばあさんに騙されたのか!?

文句の1つでも、言ってやろうと売り場へ向かう。

「あのっ!!ここで買った宝くじ、番号が書いてなかったんですけど😞👉偽物ですか?👉返金してください!!」

「ふふっ。保管場所に気をつけるよう言ったじゃろ…👉まあ、よいわ。そのクジにはお前が好きな番号を書けばよいのじゃ。あとはお前しだいじゃ。」(ニヤリ😏)

全くもって意味不明だった。

しかし、ふと思いついた。

(当選番号は発表されている。ということは一等の番号を書けば大金持ちになれるんじゃないか?)

ただのお遊びと、試しに書いてみた。

すると!!

手書きのハズが印字されたように変わった…。

「おばあさん、これ…。」

「ふふっ。本当に書いたのか…。〇〇銀行へ行きな。」

数日後、言われた通り〇〇銀行へ。

個室へ案内された。

巷でうわさのハンドブックをもらい、入金手続きがすんだ。

まるで夢のようだ!!

これで車も、家も買える!!旅行だって。仕事も辞めよう!!

だが、いざ買い物をしようとカードを出すと決済ができない😞

現金の引き出しもできない😞

どういうことだ!!😞

使えないお金に何の意味があるんだ?

どこからか、おばあさんの声が聞こえてきた。

『初夢じゃよ👻👻👻』